「未来へのメッセージ」ワークショップ結果

テーマ1 【STEP2】 <集約版 >
 「大災害から学んだこと、感じたこと」

■ 自然の怖さ

「自然のこわさ」(A) 「自然に対して」(B)

- ・雨の恐ろしさと水の大切さ(A)
- ・自然の怖さ(A)
- ・<u>悲しい、恐ろしい体験</u> (<u>生命と向か</u> い合う心) ☆とみく(E)
- 一瞬にして命や財産を失う(A)
- 何もできない(雨が降っているのを、ただ 見ることしかできなかったと聞いて)(A)
- ・自然の力には勝てない☆まっつん(B)
- ・自然の力に人間はかなわない☆ダイ(B)
- ・自然の力は偉大で、人間はちっぽけである こと☆ターボー(E)
- ・人間(科学)は自然を支配できない。自然 の摂理についてはほとんどわからないこ とだらけ。よって、畏敬の念をもち、謙虚 であれ!☆マーチン(E)
- ・人間の力は自然の驚異に対してはほとんど無力☆ヤマさん(E)

■ 想定外 「想定外」(D)

- ・想定できないことが起こる☆モ(B)
- ・想定外のことが起こる☆キリン(D)
- ・地震予測の限界など☆やーまん(B)
- ・安全に「これでよし!」は無い☆まめっち(D)
- ・想定外で思考停止してはならない☆ダイ (B)
- **原発は危険**☆キリン(D)
- ・原発(放射線・能)の恐ろしさ、原発(放射線・能)の事を知らなければいけないということ(D)

■ 絆・つながりの大切さ

「共助」(A)、

- ・<u>絆(人は一人では生きられない)</u>☆ とみく(E)
- ・昔ながらのとなり組的な**つながり**。☆い

でっち(B)

- ・<u>いざとなれば人間は助けあう</u>モンダ ☆Yan(A)
- 「助け合い」これがすべて!☆にっしー(C)
- ・遠くの親戚より近くの、**頼るのはまず自分 自身、そしてコミュニティ☆**マーチン(E)

● 今の私たち:「自助」の問題点「今の私たち」(A) 「自助と共助の関係住民(人と人)の身近なつながり」(B)

- ・災害はいつどこででも発生する(A)
- ・災害は突然起こる☆やーまん(B)
- · <u>日頃の油断(A)</u>
- ·<u>危ないことへの意識の低さ</u>☆や-まん (B)
- ・3日前の大雨警報発令中に、**鉄砲水で**もう 少しで**流される寸前**に☆みぞぐ(D)
- ・自分だけは安全と思わない☆モ(B)
- ・身辺の危険度を知っているか(B)
- 人間は忘れたがる
 (だから生きていける) ☆ダイ(B)

■ 災害が起きた時:「公助」の問題点 「公助」(A)、「だから・・・」(B) 「自助と公助の関係」(B)

- ・災害時は公助はあてにならない(A)
- ・呼び掛けに対して、**実際に避難した人 が少ない**ことが問題(A)
- ・情報が伝わらない☆モ(B)
- ・<u>情報不足で状況を把握できない</u> (現 場) ☆epi(B)
- 自分に何ができるか、わからなかった。☆まっつん(B)
- ・全容がわかるまで、人々の行動が比較的落 ち着いていた☆epi(B)

■ いざ!!!災害が起きたら

「いざ!!!」(C) 「自己判断」(D)

- ・<u>感じたこと。判断力の大切さ</u>。役場からの<u>避難勧告を受身に待ってたらあぶない</u>!☆へんりー(C)
- ·"その時"ではなく、1~2 時間先の危

険を予測☆あいちゃん(C)

- ・周辺状況の把握の大切さ(A)
- ・**情報を**いかに**早く集める**か☆Yan(A)
- · <u>正しい情報</u>(A)
- ・情報収集の大切さ☆へんりー(C)
- ・結局は**自分の一瞬の判断がカギ**(D)
- ・自助・**自己判断**(D)

■ 忘れないこと・被災地支援 「これからのために・・・」(C)

- ・忘れないこと☆たま(C)
- ・忘れてはいけないこと、<u>**忘れない努力**</u>☆ じん(D)
- ・<u>事実を語り継ぎ、風化させないこと</u>
 ☆じゅりあん(E)

「支援 etc.」(D)

- ・<u>(東日本大震災) 支援・応援を</u>し<u>続け</u> なければいけないこと☆じん(D)
- ・長崎県は3つの大災害の先駆県。大いに支援をしましょう☆みぞく(D)

■ 災害からの復旧・復興 「公助」(A)、「だから・・・」(B)

- ・ 今も昔もごみ処理が大変ダ☆Yan(A)
- ・災害時には**ドロボウ**(悪いやつ)**が出てく** るゾ☆Yan(A)
- ・復旧の時こそ、チャンス (長崎大水害でチャンスをいかせたか?) ☆モ(B)
- ・自然に打ち克つのではなく、<u>自然と共生</u> <u>すべき</u>であること☆ターボー(E)
- ・自然の摂理や教訓を謙虚に観察し、受止め、 自然の許容範囲の中での利用、改変に留め、 決して経済性、利便性を優先させないこと。 例えば自然の改変や保全は失敗したらす ぐにやり直す(エコシステムアプローチ) が重要。常に持続可能な利用、自然と の共生を考える☆マーチン(E)

■ 前もって!!!(日常の備え)「前もって!!!」(C)

<u>「自助」(A)</u> <u>「これをやります」(C)</u>

・災害に対して**備品と心の準備**☆たま(C)

- ·危機意識を持つ(A)
- ・常に危機感を持っておくことが大事☆ヤマ さん(E)
- ・事前の心がまえが必要☆やーまん(B)
- ・日常の備え<u>(近所付き合い、物、考え</u>方<を変える>) (A)
- ・連絡方法を事前に決める(A)
- 代替手段(**避難経路**等)(A)
- 普段からの防災意識の重要性(避難場所、 ルート)(B)
- ・災害が起こる前、日頃から**災害袋を用意**しておくとか、**避難場所を確認**しておくとか、**防災意識**を持つ事が大切☆おのっち(C)
- ・非常袋を購入☆あいちゃん(C)
- 避難できる安全な場所を日頃から目を付けておくのが良い☆SEGA(C)
- ・<u>懐中電灯</u>を買う。電気の節約、もし電気がこなくなったら・・・☆SEGA(C)
- ・<u>災害パターンをいくつも予測するべ</u> き☆あいちゃん(C)
- ・雨が降り続く時は、<u>地下にはいかない</u> 方が良い☆SEGA(C)
- ・**もしもの時の事を考え、日頃から**時間にゆとりをもって<u>行動</u>すれば、万一の時に余裕をもって行動できる☆SEGA (C)
- ・<u>もっとニュースを見る</u>!!☆へんりー (C)
- ・与えられた<u>情報を鵜呑みにせず、疑問</u> を**もつ**こと☆じゅりあん(E)

<地域のつながり・絆>

- ・<u>自治会活動へ</u>さらに<u>積極的に参加</u>します!☆にっしー(C)
- ・独居老人への声掛け☆たま(C)
- ・**家族・友人など今より**もっと<u>連絡を</u> 取るようにする☆おのっち(C)

「教育」(D)

- ·防災教育の必要性("知らない"現実)(A)
- ・災害を知らない世代に伝えていくことが必要☆にっしー(C)
- ・**"もしも" の時のための学習**を子ども たちと。(D)